



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第56号
 発行人：小松香織
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

都草では観光ガイド・講演・案内業務等の活動を行う会員の皆さまに、スキルの向上をめざした研修を行っています。今回はガイド研修で講演された3人の方にその内容を紹介していただきます。

・・・楽しみながら「おもてなし」のレベルアップを図りましょう・・・

「ガイドの醍醐味を求めて」



ガイドの楽しさは、発見をお客様と共有することです。感動のないところによりガイドはあり得ません。パンフレットを覚え読むことではなく、自分の言葉に直し、語りかけるのです。自分が感動したことを、話の中に添えると喜ばれるものです。

東福寺での例をお話ししましょう。法堂にはお釈迦様が祀られ、阿難尊者と迦葉尊者(かしょうそんじゃ)が両脇を務めます。迦葉尊者は智恵第一でお釈迦様の言葉を理解します。あるときお釈迦さまが蓮の花を一つ捻り示します。誰も意味が分からなかったの

ですが、迦葉尊者だけが花を受け取り、にっこりと微笑んだとされます。本当に伝えたいことは心から心に伝わるものです。東福寺ではこの故事により三尊像が祀られているとのこと。

お客様には正対して話してください。横や後ろでお話しても声が届きません。語尾はしっかりと。ファイル(紙芝居)は多用して、揺らさず見やすい位置で提示してください。(専務理事 田村 光弘)

「私がガイドをする時に心掛けていること」

どれだけ多くの深い知識を持っていようとも、相手に伝わらなければ何の意味もありません。どんなことでも基本が大事だと思っています。以下はその基本です。

- ①原稿を自分で作る(本やパンフレットをそのまま読む時も自分の言葉で) <難しい言葉は易しい言葉に。文章を補足する>
 - ②声に出して読んでみる(時間を計る) <プロは1分間に350字、素人は300字>
 - ③案内は3分を目安にする<案内は知識の発表の場ではない。立って聞く時の時間の限界>
 - ④滑舌よく話す(大きな声ではない) <句読点で必ず切る>
 - ⑤史実に基づかないことは断定的に言わない(寺院などのパンフレットを否定しない)
 - ⑥寺院等でお参りの強要をしない
 - ⑦指差し案内はしない
 - ⑧雨や雪の日には透明のビニール傘を持つ <案内の対象物が見えない>
- などが、私がガイドをする時に心掛けていることです。(会員 安田 富枝)



「本当に楽しかったです、有難うございました」



最後にこの言葉をお聞きしたいがために、ガイドをしていると言っても過言ではありません。ガイドはある面エンターテイナーだと私は思っています。私どもがご案内する方々は様々ですが、難しい事は平易な言葉に置き直しわかりやすく伝え、なおかつ楽しんでいただく。「一つの事を話すのにはなあ、十の知識が必要なんや」最近ある先輩が仰った言葉です。豊かな知識があればあるほど話す内容に厚みを与えます。

笑顔はもちろんの事、余談も必要です。お客様一人一人の目を見て話す事も必要です。そして何よりも「ようこそ京都にお越しいただききました。どうぞお楽しみください。」と思う心が必要ではないでしょうか。今までに数えきれないくらいガイドをしてきましたが、今日は満足なガイドができたなと思えたことはただの一度もありません。ガイドは難しいですが挑戦する価値は十分あると思います。

(理事 須田 清司)

■ 新入会員オリエンテーションが9月18、20、21日の3日間に行われました。

25名の参加者より2名ご紹介いたします。

・新入会員オリエンテーションに参加して

18日に行われた都草事務所の新入会員オリエンテーションに参加しました。机の上には『ともに京都を学び・語り・遊ぶ：都草10年の軌跡』の立派な冊子が④資料データ一覧表と共におかれておりました。手にすると入会の重みがずっしりと。進行は熊谷副理事長で、小松理事長をはじめ担当役員の皆様に活動をご説明いただきました。この日の参加者は、90歳の方や京都検定1級を最短で合格した方など入会動機も出身も様々で、最後の府庁案内まで楽しい時間が過ごせました。



私は昨年秋に京都府元気シニア活動協議会の「第4期京都ウエルカムサポーター養成講座」を受けました。その時に都草会員の方が数人いらして、その方々から勧められたことが入会のきっかけです。入会後に祇園祭大船鉾のボランティアにご縁があつて参加しました。京都の歴史を実感できる大きな経験でした。これからもいろいろな行事で学びを深め、ガイドのスキルも磨きたいと思いました。(会員 相場 まり子)

・新入会員オリエンテーションに参加して



初めまして。7月に都草の会員に入会させていただきました佐久間縁(ゆかり)と申します。私が都草の存在を知ったのは、仕事でお世話になっている京都の税理士の先生に勧めていただいたことからでした。

私は今年の6月末に福島県から大阪へ引っ越して来たばかりですが、仕事でも時々京都へお邪魔する事があります。「これから憧れの京都をどんどん知って行きたい！」と話した事から、都草の活動を教えていただきました。都草は古き良き日本の文化を守る素敵な活動だと知り、「すぐに加入します!!」と即決いたしました。

これからできる限り色々な活動に参加させていただき、京都のよさそして日本のよさを再確認して、若い世代にもどんどんこの活動を広めていければと思います。

京都に憧れを持ちながら、修学旅行でも訪れる事ができず、京都を知るのはここからがスタートです!

これも何かの「ご縁」と思い、これから皆様の仲間として、色々ご指導いただけますと嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。(会員 佐久間 縁)

■令和元年度下期旧議場土曜講座

京都府庁旧本館旧議場で毎月第3土曜日に開催されている旧議場土曜講座も、今年で4年目になります。毎年下半期の10月から翌年3月までは「京の四方山ばなし」都草の会員が講師を務めています。今年の講師とタイトルが決まりましたので、ご案内します。



- ・10月19日 「地藏信仰小史と京の名地藏たち」
講師：吉見誠一郎会員
- ・11月16日 「日本の四季 旧暦と新暦・古文・料理」 講師：中島孝和会員
- ・12月21日 「本能寺の変は謎だらけ 本能寺から山崎へ光秀の動きに迫る」 講師：植村多賀子会員
- ・1月18日 「伏見稻荷大社の不思議 お稲荷さんてこんなところ」 講師：森幸弘会員
- ・2月15日 「京都の復興と教育 番組小学校創設150周年」 講師：杉村忠重会員
- ・3月21日 「風流な文化人 東山文化の創始者 足利義政」 講師：須田清司会員

講演時間は毎回13時30分～15時00分、事前申し込み制ですので、お聴きになりたい方は京都府府民総合案内・相談センター(075-411-5000)まで電話でお申込みください。(広報部 須田 信夫)